

研究課題名	次世代眼科医療を目指す、ICT/人工知能を活用した画像等データベースの 基盤構築 プロジェクト2（前眼部の診断）
研究責任者名	筑波大学 医学医療系眼科 教授 大鹿哲郎
研究期間	2020年1月1日～2024年3月31日
対象者	2020年1月から2024年3月末の間に、広島大学病院眼科で前眼部画像（前眼部写真、 前眼部光干渉断層計画像等）を撮影した患者。
意義・目的	医療の適正化、医学の向上を目的として、日本眼科学会が主導して、全国の基幹病院から画像 データならびに基本的な診療データを広く集める体制事業の一環として人工知能(AI)を用いて、 前眼部画像から自動的に眼科の疾患の診断支援を行うプログラムを作成することを目的としま す。
方法	本研究は、診療・研究で収集されたデータ（前眼部写真、前眼部光干渉断層計画像、診断名、 患者基本情報及び臨床経過(氏名・生年月日等の個人情報を除く)）を収集し、二次利用するもの で、本研究のために患者さんに負担や危険を伴う検査や処置などを行うことはありません。
共同研究機関	大阪大学、京都府立医科大学、筑波大学、東京歯科大学市川総合病院、愛媛大学、金沢大 学、関西ろうさい病院、北里大学、近畿大学、国際医療福祉大学三田病院、杏林大学、慶應義塾 大学、東京女子医科大学、東邦大学医療センター大森病院、鳥取大学、日本大学医学部附属板橋 病院、広島大学、福岡大学、宮田眼科病院、和歌山県立医科大学、順天堂大学、国立長寿医療研 究センター
情報収集機関	日本眼科学会
情報解析機関	日本眼科学会、国立情報学研究所、東京大学、京都大学及び名古屋大学
試料・情報の管理責任者	筑波大学 医学医療系眼科 教授 大鹿哲郎
個人情報の保護について	データは個人を特定するための情報を削除して取り扱いますので、個人情報が洩れることはあ りません。収集されたデータは、参加医療機関において、特定の個人の識別や復元ができないよ うに処理をしたうえで、日本眼科学会に送られます。日本眼科学会内で解析に必要なデータを抽 出し、それらは国立情報学研究所へ送付されます。このデータに対して、深層学習等を活用し、 前眼部疾患の診断プログラムの作成を行います。データの収集やアクセスの管理については、国 の医療情報管理指針などを参照にして厳格に行います。 今回の調査へのご協力を拒否される場合は、参加しないことが可能です。ご協力を拒否されたと しても、その方に不利益は生じませんのでご安心下さい。ご協力頂けない場合、得られた情報は 全て破棄します。
本学の試料・情報提供責任者	広島大学病院 眼科 教授 木内 良明

問合せ・苦情等の窓口

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 T e l : 082-257-5247

広島大学病院 眼科 教授 木内良明

既存試料・情報提供機関：広島大学